



## 必ず投票に行つてね 啓発活動を行いました！

6月8日(月)、大崎町明るい選挙推進協議会が、近年低下している投票率に歯止めをかけようと、7月12日に行われた鹿児島県知事選挙の投票を呼びかける啓発活動を行いました。

啓発活動は、あすばる大崎、プラッセだいわ、野方あらさののローソンで行われ、買い物客やグラウンドゴルフに訪れた住民の方々にウエットティッシュと花の種が配布されました。

選挙は、国民一人ひとりに与えられた平等な権利です。あなたが投じた一票で選挙の結果が決まる貴重な一票です。選挙は棄権せず、必ず投票しましょう。



## 投票の意識付けを同世代に！ 若者が投票立会人に起用されました

7月12日(日)に行われた鹿児島県知事選挙の期日前投票が6月26日(金)から7月11日(土)にかけて16日間行われ、その中で、10代から20代の若い世代の有権者が投票立会人として投票所における重要な役を担いました。

投票率が低迷する若い世代が参加することで、選挙や投票に対する良い意識付けとなりました。

6月27日(土)に大崎町役場の期日前投票所で投票立会人をされた、内村優希さん(22歳)は、「投票立会人という貴重な経験ができました。選挙を身近に感じることができ一票を投じる大切さを改めて感じました」と感想を述べていました。

また、6月29日(月)に同会場で投票立会人をされた西竹将仁さん(19歳)は、「とてもいい経験になりました。これから政治や社会の知識を身に付けて、積極的に選挙に参加したいです。また、気軽に投票ができるので、同世代にも投票を呼びかけていきたいです」と感想を述べていました。